

感染防止安全計画

1. 開催概要		※「感染防止策チェックリスト」の開催概要の添付でも可	
イベント名	今宿地区納涼花火大会 HP: imajyuku.com		
出演者・チーム等	感染防止のため舞台・屋台を中止したため出演者・チーム等はありません		
開催日時	令和4年8月4日 (20時00分 ~ 21時00分) 雨天延期の場合は令和4年8月5日 (20時00分~21時00分)		
開催会場	長垂海浜公園		
会場所在地	福岡市西区今宿長垂海浜公園		
主催者	今宿地区納涼花火大会 実行委員長 平方 芳伀		
所在地	福岡市西区今宿青木 138-1 今宿公民館内		
連絡先	092-806-0242 gamegink@gmail.com		
収容率 (上限)	<input type="checkbox"/> 収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔	
	いずれかを選択 (いずれも大声がないことを担保)		
収容定員	—		
参加人数	8,500人		
対象者全員 検査の実施	<input type="checkbox"/> 緊急事態措置区域：人数上限 10,000 人を収容定員まで緩和		
その他 特記事項	感染防止対策のため舞台・夜店を全て中止し花火鑑賞のみのため大声は予想されない		

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨するまたは必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

2. 具体的な対策

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

<チェック項目>

- ☑飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用（※1）や大声（※2）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

（※1）マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。

（※2）大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とする。

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- マスクを着用しない者や大声を出す者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施
 - マスクを着用しない者や繰り返し大声を発する観客の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）。
 - 応援自粛に係るファンクラブ等との事前調整。
 - 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底のための実施計画。
- 新たな鑑賞・応援方式を根付かせるための取組の工夫（演者からの呼びかけ等）

（記載欄）

- （1）屋外イベントであり、ステージイベント・飲食なども完全中止にし、花火鑑賞のみのため、大声は予想されないことと、熱中症予防のため強制はしないが、基本的にはマスク着用を会場アナウンスを通じて定期的にお願ひする。
- （2）集団で固まって鑑賞しないように会場アナウンスでお願ひする。
- （3）花火大会の時間を例年の4時間から1時間に短縮し感染予防をはかる

②手洗、手指・施設消毒の徹底

<チェック項目>

- ☑こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施）
- ☑主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 具体的な手洗場、手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施
- 施設内の消毒（箇所・頻度等）の計画の検討・実施
- アナウンス等での手洗・手指消毒の呼びかけ

（記載欄）

- （１）消毒液をトイレ・会場出入口に設置する
- （２）会場アナウンスで手指消毒を呼びかける
- （３）夜間イベントなので消毒液設置場所は照明で明るくする

③換気の徹底

<チェック項目>

☑法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上）の徹底

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

➤ 各施設の設備に応じた換気計画の検討・実施

- 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気計画の策定。
- CO2測定装置による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施。
- 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス。

（記載欄）

（1）今宿納涼花火大会は屋外（海岸）で開催するため換気については必要が無く安全に開催できる

④来場者間の密集回避

<チェック項目>

- ☑入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施
- ☑休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築
- ☑人と人が触れ合わない間隔の確保

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 開場時間の前倒しや時間差・分散退場の実施、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導計画
- 密になりやすい場所での足形マークの設置、マーキング、誘導員等の配置による誘導等の実施計画
- CO2 測定装置等を活用した混雑状況の把握・管理と適切な誘導
- 収容率を踏まえた、密集回避に適した観客席の座席配置の工夫

（記載欄）

- （１）入場場所は東西にあり分散していることと、誘導員・警備員の誘導により密集を回避する
- （２）花火大会会場は広い海岸であり、休憩・待合場所もなく密集ができる可能性は少ない
- （３）舞台・夜店を全て中止することにより来場者の密集を避ける
- （４）今回は花火大会のポスターを作成せず地域住民対象の小規模のイベントを目指す

⑤ 飲食の制限

<チェック項目>

- ☑ 飲食時における感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
- ☑ 飲食中以外のマスク着用の推奨
- ☑ 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛（ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない）
- ☑ 自治体の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討）

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 飲食可能エリアにおける飛沫感染等を低減する具体的な感染防止策の策定
- 飲食・アルコールを必要最小限に抑える方策の検討・実施
- 安全なイベント開催のための、飲酒による大声発生等の問題発生時には退場処分や酒類の提供中止等の対策を事前に周知

（記載欄）

- （１）今宿地区納涼花火大会は今回夜店を全て中止し飲食が発生しないため飲食による感染可能性は低い
- （２）持ち込みによる飲食を中止するため場内アナウンスで告知する

⑥出演者等の感染対策

<チェック項目>

- ☑有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する
- ☑練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する
- ☑出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く）

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- 日常から行う出演者やスタッフ等の健康管理方法の検討
 - 出演者やスタッフ等の必要に応じた検査の実施。
 - 健康アプリの活用等。
- 出演者やスタッフ等と観客の接触防止策（動線計画・ファンサービスの自粛等）の策定、出演者やスタッフ等及び観客双方への呼びかけ

（記載欄）

- （１）今宿地区納涼花火大会は今回、舞台・ステージイベントを全て中止するため出演者が不在で感染の可能性は無い

⑦参加者の把握・管理等

<チェック項目>

- ☑ チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
- ☑ 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止
- ☑ 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起

<具体的な対策>

<記載項目（例）>

- チケット購入時の参加者の連絡先把握
- COCOA や各地域の通知サービス等による来場者情報の把握・管理手法の確立（アプリ等の確実なダウンロードや来場者情報を把握するための具体的な措置の検討）
- 直行・直帰等のイベント前後の感染対策に関する具体的な措置
 - 会場での直行・直帰の呼びかけ。
 - 警備員による公共交通機関への誘導等。
- 検温・検査実施のための体制・実施計画
- 有症状者の入場を防止できるキャンセルポリシーの整備

（記載欄）

- （１）会場内アナウンスで、COCOA アプリの使用をお願いする
- （２）入退場時は誘導員・警備員と協力しながら速やかな直行直帰を促す
- （３）今回は花火大会のポスターを作成せず地域住民対象の小規模イベントを目指す

※提出時には、イベントのチラシや計画書等（既存資料）、参考とした業種別ガイドライン等も添付してください。

3～4は、該当する場合のみ記載してください。

3. 対象者全員検査に関する実施計画

※緊急事態措置の発令時に、人数上限を超えて、収容率100%での開催をしようとする場合に記載

※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和4年1月7日変更）における「対象者に対する全員検査」の取扱いについて」（令和4年1月7日付け事務連絡）等を確認の上、下記の項目について、実施の有無をチェックしてください。

※本県は、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、**対象者全員検査の場合のみ適用**いたします。

実施を予定している検査の内容について具体的に記載してください。

（記載欄）

「検査結果」の確認方法について具体的に記載してください。

（記載欄）

抗原定性検査を実施する場合には、「ワクチン・検査パッケージにおける抗原定性検査の実施要綱」（令和3年11月19日付け事務連絡）に従い、適切に実施している。

その他の事項についても、「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」に従い、適切に実施している。

4. 専門家との調整状況

※専門家の事前確認を受けた場合に記載

助言を受けた専門家：（所属）
（氏名）

主な助言内容：